

# きたほ Hot Line 2015.6

本年度、仙台北法人会は創立60周年を迎えました。

発行部数 3,000部 ●平成27年6月号 第479号  
●平成27年6月1日発行 ●毎月1日発行

## 6月3日 創立60周年講演会講師 サンマリノ共和国特命全権大使 マンリオ・カデロ 氏

イタリアのシエナにて出生。

イタリアで高等学校を卒業後、パリのソルボンヌ大学に留学。フランス文学、諸外国語、語源学を修得。パリ滞在中の4年半の間、ウィーン大学、シエナ大学、マドリッドのマンゴルド学院等の夏期講座や言葉・文化コースにて研鑽を積む。語源学を修了した後、大手新聞社コリエレ・デッラ・セーラの出版部門でジャーナリストとしてのキャリアをスタートさせる。

1975年に来日、東京に移住。イタリアの大手出版社と提携し、イタリアの情報、ルポルタージュ、ニュース等の新聞雑誌を日本に紹介するサービスを主とする事務所を東京に開設。コリエレ・デッラ・セーラの出版部門、出版社リッツォーリ、出版社ルスコーニ、エディスポーツ、エディモダ等を日本に紹介、代表を務める。1999年までこの業務に従事し、その間外交官としての仕事も開始する。

複数の著書があり、2012年には「コスモポリタンになろう」が出版され、2014年6月には「だから日本は世界から尊敬される」が出版された。

1989年に、在日本サンマリノ共和国の領事として任命される。2002年12月、日本初のサンマリノ共和国特命全権大使として任命される。様々なボランティア活動にも参加。

2009年-2010年 駐日大使代表として平和大使

2011年5月23日より、駐日外交団団長

2011年7月8日 東京国際大学 特命教授就任

2012年2月 観光庁アドバイザーに任命

現在もサンマリノ共和国の大使として、外交活動を継続中。



サンマリノ共和国に関する宣伝活動その他の功績が認められ、以下の勲章を受章する。

1994年 聖アガタ騎士勲章

1999年 聖アガタコメンダトーレ勲章

2003年 聖アガタ大十字勲章

2005年 聖マウリツィオ・ラザロ騎士団上級騎士勲章

2010年 イタリア共和国騎士勲章

### ■ 60周年主要事業予定

27年 6月 3日 (水) 記念講演会・通常社員総会・記念式典・記念祝賀会…… 仙台勝山館

11月15日 (日) 小学生第7回税に関する絵はがきコンクール応募作品展示・

法律等無料相談・税金クイズ・他 …………… 東北電力グリーンプラザ

28年 1月 新春講演会・新年賀詞交歓会

行事予定はホームページをご覧ください。

<http://www.kitaho.or.jp>

仙台北法人会

検索



# 挨拶



公益社団法人  
仙台北法人会  
会長 菅原 一博



仙台北税務署  
署長 吉原 裕二

## 創立六十周年を迎えて

公益社団法人仙台北法人会は、お陰さまで本年、創立六十周年並びに社団化四十周年の節目を迎えることになりました。

本会は、昭和三十年「仙台法人会」として四十二社で発足して以来、貫して「中小企業者の健全経営をバックアップする」ことを主眼として、時代の厳しい流れの中で幾多の試練を経験しながらここに至っております。

これも、関係機関の皆様のご支援、ご協力、そして諸先輩のご努力があつたのことに感謝申し上げます、厚く御礼申し上げます。

さて、ここ十年を振り返りますと、最大の出来事は平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災でした。特に岩手、宮城、福島三県は地震、津波そして福島原子力発電所の事故により、甚大な被害を受けました。会員企業の皆さんも、直接間接的に大きな被害を受けられた方も多く、その復興には大変な努力を要し、改めてお見舞いを申し上げます。当会は、大震災の復旧、復興に向けてワンコイン募金運動を始めとして、研修会・講演会や募金活動、チャリ

ティーイベント協力や復興支援バスツアー等を毎年行つて参りました。

組織関係では、公益法人制度改革に伴う変更がありました。当会では、平成十九年に公益法人制度改革検討委員会を立ち上げて検討を始め、以来、十三回の協議を重ねました。諸規定の改定や役員数、支部委員会、会員資格及び会費等多岐に亘る検討を行い、また、随時理事会等に諮り、平成二十五年四月一日に公益社団法人設立登記に至っております。この結果、役員定数は八十九名から二十五名に、支部は十六支部から七支部にまとめております。

公益社団化にむけてご指導いただきました先行会、監督庁に御礼申し上げます。

また、税関係事業では平成十九年から次代を担う生徒に「税」知識の普及と納税意識の高揚を図るため租税教室を開催し、講師を派遣しています。平成二十年からは「税に関する絵はがきコンクール」を開催、また「税を考える週間」では街頭キャンペーンを継続して実施しております。

他に社会貢献等事業として、盲導犬育成街頭募金の継続、環境美化運動として各支部で

早朝地域清掃活動、会員以外の方にも呼びかけした著名人の講演会を実施しております。

一万会員数については、経済情勢の変化を背景として、休業、廃業、倒産、そして合併等、また、会員資格の見直しによる脱会等により、全国的に会員の減少が目立つようになりました。平成二十七年三月末では千九百四十六社となつております。法人会のように、異業種の会員で構成する団体では皆様のニーズすべてにお応えすることは非常に難しく、会員の減少は組織の財政基盤に大きな影響を及ぼしております。役員を始めとして全会員一丸となつて会員増強に向けて努力していかねばならないと考えておりますので、皆様方のご協力を是非お願い申し上げます。

六十年の節目を迎え、これからも会員そして地域社会に喜ばれる法人会活動を目指し努力してまいりたいと考えております。

関係者の皆様のお力添えとともに、会員の皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。

最後に、仙台北法人会の今後一層の発展をお誓い申し上げます。

## お祝いの言葉

公益社団法人仙台北法人会の創立六十周年、社団化四十周年、誠にめでとございます。

会員の皆様方には、税務行政の円滑な運営につきましても、日頃から深いご理解と多大なご協力をいただいておりますことに、この機会をお借りいたしまして心から感謝申し上げます。

公益社団法人仙台北法人会は、昭和三十年に仙台法人会として創立され、その後、昭和五十二年に社団法人となり、昭和五十三年の分離独立、平成二十五年の公益社団法人の認定を経て現在に至っております。

この間、昭和五十一年に東北初の女性部会を、昭和五十九年には青年部会を発足させるな

ど、組織の充実と基盤の強化を図るとともに、税務研修をはじめ、著名人を招いての講演会の開催など会員のニーズに沿った研修活動へ報告誌「きたほ Hotline」及びホームページを活用した広報活動、盲導犬育成資金街頭募金をはじめとする社会貢献活動など、各種事業活動を積極的に展開しております。

これも、菅原会長をはじめ役員の皆様方の法人会活動に対する強いリーダーシップと会員の皆様方のご熱意の賜物であり、そのご努力に對しまして、改めて敬意を表する次第です。

ところで、最近の税務行政を取り巻く環境は、アベノミクスの「三本の矢」の効果もあり、日本経済は緩やかな回復基調が続いているものと思われま

こうした中で「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という私どもに課せられた使命を果たすため、税務行政の運営に当たっては、e-TaxなどICTを活用し、納税者にとって利便性の高い申告納付手段の充実など、納税者サービスの向上に引き続き努めるとともに、適正な申告を行った納税者に不公平感を与えないよう、悪質な納税者には厳正な姿勢で臨むなど適正・公平な課税・徴収を行うことが重要であると考えております。

法人会の会員の皆様方には、税務のよき理解者として変わらぬご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、貴会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。





仙台北法人会

## 60年のあゆみ

## ● 創立から50年（昭和30年度～平成17年度） ●

昭和30年	12月	仙台税務署管内を区域として仙台北法人会を創立。 会員数42社、初代会長に内ヶ崎賛五郎商工会議所会頭が就任。
51年	1月	仙台北法人会を発展的に解散、社団法人仙台北法人会の設立総会を開催。
51年	2月	仙台国税局長から社団法人の許可書交付を受く。
53年	1月	北中税務署別の法人会を創立。
55年	4月	東北で初の婦人部会（現女性部会）を結成、記念式典挙行。
59年	4月	青年部会結成記念式典挙行。
平成13年	9月	ホームページを開設する。
17年	11月	創立50周年・社団化30周年記念式典を開催する。 フットサル大会・阿川泰子コンサート



## ● ここ10年の動き（平成18年度～平成26年度） ●

平成18年～26年	「税を考える週間」街頭キャンペーン
19年～26年	租税教室開催 「税」知識の普及と納税意識の高揚を図る事業の一環として、平成19年から小学6年生を対象とした「租税教室」開催して、講師を担当。
20年 9月	事務所移転登記 仙台市青葉区上杉三丁目1-30 から 仙台市青葉区大町一丁目1-30
20年～22年	オンリーわんフェスタ 平成20年、動物愛護精神の推進、補助犬に対する理解の普及、マナー向上の呼びかけを目的に実施。
20年～26年	その他関連事業 「税」に軸足を置く法人会として、電子申告（e-Tax）研修会を始めとして、各種研修会・セミナーを毎年実施。 平成20年からは管内全小学校（86校）に呼びかけて「税に関する絵はがきコンクール」の作品を募集。
22年 11月	女性部会創立30周年記念式典・祝賀会（仙台勝山館）
25年 4月	公益社団法人仙台北法人会設立登記 平成19年10月から公益法人制度改革に向けた検討を始め、13回の協議を重ねて、諸規程、規則、細則の改定や役員数、支部数、委員会、会員資格、会費の見直しなどを実施。 他にHPをリニューアルし、平成24年6月号から広報誌を「Kitaho.com」から「きたほHotLine」へ衣替え。
25年 11月	青年部会設立30周年記念式典・講演会・祝賀会（仙台勝山館）
～26年	盲導犬育成街頭募金 平成12年から継続して実施



## ここ10年の動き 東日本大震災関係事業

平成23年3月11日発生の東日本大震災の復旧、復興に向けて、研修会・講演会、募金活動、チャリティーイベント協力、仮設住宅入居者支援事業などを継続して実施

平成23年	4月	東日本大震災緊急融資説明会(中央支部)
	5月	東日本大震災に伴う税法の改正について研修会(泉支部)
	5月	東日本大震災に係る復興支援について講演会(黒川支部)
	7月	東北六魂祭チャリティーイベント協力 カレーライス販売・募金(女性部会)
	8月～	東日本大震災復興支援活動(女性部会)
	12月	気仙沼市大谷地区「浜のばあちゃんの布ぞうり」 生地収集と販売活動
	8月	東日本大震災復興支援事業 被災企業並びに被災企業取引支援施策研修会及び相談会
	8月	東日本大震災復興支援事業(青年部会) 講演会「再生のために今、私達ができること」
	9月	法人税 税に関する震災特例法等勉強会(青年部会)
	10月	東日本大震災に伴う所得税に関する税制措置研修会(青年部会)
	10月	東日本大震災支援 ワンコイン募金運動
	10月	被災地復興支援講演会(青年部会) 「東日本大震災における自衛隊(大和駐屯地)の活動について」
	11月	講演会義援金 東日本大震災みやぎこども育英資金へ贈呈
12月	東日本大震災復興支援活動 エプロン寄贈(女性部会)	
24年	4月～	東日本大震災復興支援活動(女性部会)
	9月	「浜のばあちゃんの布ぞうり」 生地収集と販売活動
	6月	被災地復興支援バスツアー 石巻市、気仙沼市(女性部会)
	6月	仮設住宅へプランター寄贈(東京麻布、仙台北、仙台中法人会)
	10月～1月	震災遺児へのペットボトル募金箱(青年部会)
	10月	東日本大震災と昨今の葬儀について研修会(北東支部合同)
	11月	被災地にあつての企業の使命講演会(泉支部合同)
11月	被災地訪問事業 気仙沼(青年部会)	
25年	3月	震災遺児への街頭募金活動(青年部会)
	6月	被災地復興支援バスツアー 女川町(女性部会)
	6月	震災復興講演会 私たちの描く未来(青年部会)
	8月	震災ドキュメンタリー映画上映会(青年部会)
	9月	仮設住宅入居者招待大ボウリング大会
	10月	被災地における企業の使命講演会(北西支部)
	10月	震災孤児への街頭募金活動(青年部会)
	11月	災害時における放送局の役割研修会(中央支部)
26年	2月	被災地復興支援バスツアー 南三陸町(女性部会)
	3月	被災地訪問・交流事業 石巻市、女川町(青年部会)
	6月	被災地復興支援バスツアー 名取市(女性部会)
	8月	震災孤児への街頭募金活動(青年部会)
	9月	仮設住宅入居者招待大ボウリング大会
	11月	震災ドキュメンタリー映画上映会(青年部会)



## ここ10年の動き 講演会 総会・新春講演会 ほか

- |       |     |  |
|-------|-----|--|
| 平成18年 | 1月  | 日本銀行仙台支店長 橋本 要人 氏<br>「東北の景気動向」                         |
|       | 5月  | MYマネジメント 坂本 圭史 氏<br>「激動する経営環境と企業のリスクマネジメント」            |
| 19年   | 1月  | 元ヤマト運輸(株) 都筑 幹彦 氏<br>「成功は常識を取り除くことから始まる」               |
| 20年   | 1月  | オフィスなかがわ 中川 政雄 氏<br>「元気の出前 ～がんばれ、中小企業!!～」              |
|       | 5月  | 弁護士・元仙台国税局長 鳥羽 衛 氏<br>「円滑な事業承継に向けて～弁護士の活用～」            |
| 21年   | 1月  | 読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏<br>「どうなる日本の政治と経済」                   |
|       | 5月  | 東北財務局長 大川 浩 氏<br>「東北・宮城の経済」                            |
| 22年   | 1月  | ジャーナリスト 辺 真一 氏<br>「最近の朝鮮半島情勢と日本」                       |
|       | 5月  | 田中年金総合研究所 田中 章二 氏<br>「会社経費を大幅削減 ～社会保険料も、こうすれば節約できる～」   |
| 23年   | 1月  | 國學院大學硬式野球部総監督 竹田 利秋 氏<br>「創造的破壊とチームづくり」                |
|       | 8月  | NPO法人ロシナンテス 川原 尚行 氏(青年部会)<br>「再生のため今、私達ができること」         |
| 24年   | 1月  | コント作家 松崎 菊也 氏<br>「ニュースの裏話」                             |
|       | 3月  | 衆議院議員 安倍 晋三 氏 講演会(中央支部)<br>「今こそ語ろう! 日本の未来」             |
|       | 5月  | 宮城県警察本部警備部長 菅野 敏彦 氏<br>「東日本大震災の教訓等」                    |
|       | 9月  | 田母神 俊雄 氏 講演会(青年部会)<br>「～ああ、わが故郷よ～地域の復興が強い日本を作る」        |
|       | 12月 | 櫻井 よし子 氏 特別講演会(女性部会)<br>「この国の行方～日本のあるべき姿～」             |
| 25年   | 1月  | 日本理化学工業(株) 大山 泰弘 氏<br>「中小企業のもう一つの活路」                   |
|       | 3月  | 福岡 政行 氏 講演会(青年部会)<br>「どうなる日本～混迷する日本経済と復興プラン」           |
|       | 5月  | 千葉 泰伸 氏 講演会<br>「ベガルタ仙台レディースの軌跡」                        |
|       | 11月 | コメンテーター 金 美齡 氏(青年部会30周年)<br>「愛すべきこの国の未来へ ～日本人が忘れてのこと～」 |
| 26年   | 1月  | 森永 卓郎 氏 講演会<br>「変化の時代の企業経営」                            |
|       | 6月  | 弁護士 菊地 幸男 氏<br>「出会いの人生から学んだこと」                         |
| 27年   | 1月  | スポーツコメンテーター 広澤 克実 氏<br>「名将に学ぶ～リーダーシップと強い組織作り～」         |



## ここ10年の動き その他の活動

### ◎ 環境美化運動（清掃活動）

手軽に実施できる地域社会貢献事業として、平成20年の宮城支部を皮切りに、地域の早朝清掃活動を実施

平成20年 10月	宮城支部 愛子、錦ヶ丘地区 以降毎年実施
25年 8月～	仙台七夕花火祭早朝クリーン大作戦 西公園～国分町周辺一帯 以降継続
26年 8月～	黒川、泉東、泉西、北西、中央支部において実施

### ◎ 婚活支援

平成24年4月結婚支援と少子化対策の一助となるよう婚活支援事業をスタート

平成24年4～2月	婚活支援事業
9月	婚活支援バスツアー
11月	婚活支援事業「結婚して仕事にやる気」(青年部会)
25年 9月	婚活支援事業「働く独身男女のための婚活パーティ」(青年部会)
26年 9月	婚活支援事業「働く女性を応援する婚活パーティ」(青年部会)

### ◎ いちごプロジェクト(女性部会) ※いちごとは2011年夏の節電目標「15%」に由来しています。

平成23年東日本大震災をきっかけに、地域の実情に応じた節電を呼びかけている



平成19年11月 税のPRタクシー出発式



平成20年1月 公益法人改革検討委員会



平成20年1月 租税教室



平成20年9月 オンリーわんフェスタ2008



平成21年2月 税に関する  
絵はがきコンクール



平成23年7月 東北六魂祭  
チャリティーカレーライス販売募金



平成23年9月 女性部会  
浜のばあちゃんの布ぞうり展示販売



平成23年11月 税を考える週間  
街頭キャンペーン



平成24年3月 時局ディスカッション  
『復興MIYAGI』



平成24年7月 いちごプロジェクト  
街頭キャンペーン



平成24年12月 櫻井よしこ氏講演会



平成25年8月 仙台七夕花火  
早朝クリーン大作戦



平成25年9月 婚活支援事業



平成26年10月 盲導犬育成資金  
街頭募金



## - ここ10年政治経済 主な出来事 -

- |       |   |
|-------|---|
| 平成17年 | <p>小泉自民党が歴史的な大勝、郵政民営化法成立<br/>愛知県で「愛・地球博」の開催<br/>東北楽天ゴールデンイーグルス誕生<br/>今年の漢字「愛」</p>                           |
| 18年   | <p>ライブドア事件発生<br/>WBC(ワールドベースボールクラシック)で日本が初代世界一に<br/>今年の漢字「命」</p>  |
| 19年   | <p>74年振りに最高気温更新(熊谷市)<br/>赤福・比内地鶏・名古屋コーチン偽装発覚<br/>今年の漢字「偽」</p>   |
| 20年   | <p>米国リーマン・ブラザーズ経営破綻、金融危機、北京五輪<br/>今年の漢字「変」</p>  |
| 21年   | <p>米GM経営破綻、裁判員制度始まる<br/>高速道路土日祝日1000円、民主党勝利<br/>今年の漢字「新」</p>  |
| 22年   | <p>大相撲・野球賭博で混迷、猛暑で熱中症死者相次ぐ<br/>はやぶさ帰還、たばこ大幅値上げ、チリ鉱山落盤事故<br/>今年の漢字「暑」</p>                                    |
| 23年   | <p><b>東日本大震災</b><br/>女子サッカーワールドカップなどでJapan世界一、平泉世界遺産登録<br/>今年の漢字「絆」</p>                                     |
| 24年   | <p>東京スカイツリー開業、自民党圧勝・民主党大敗<br/>ロンドン五輪、金環日食や金星の太陽面通過<br/>第25回全国健康福祉祭が宮城県で開催(ねりんピック宮城・仙台2012)<br/>今年の漢字「金」</p> |
| 25年   | <p>東北楽天ゴールデンイーグルス日本一<br/>富士山世界文化遺産登録<br/>共通番号制度成立、特定機密保護法成立<br/>2020年オリンピックの東京招致成功<br/>今年の漢字「輪」</p>         |
| 26年   | <p>ソチ五輪でフィギュアスケート男子シングルで羽生結弦選手が金メダルを獲得<br/>NISA開始、消費税8%<br/>各地で記録的集中豪雨、御嶽山噴火<br/>今年の漢字「税」</p>               |



## 平成27年度 支部総会終了!!

4月14日開催の中央支部を皮切りに、北西支部(4/20)、北東支部(4/22)、泉東支部、泉西支部(4/30)、黒川支部(5/13)、宮城支部(5/14)と順次支部総会が行われました。

お陰様で、第1号議案「平成26年度事業報告並びに収支決算報告承認の件」、第2号議案「平成27年度事業計画並びに収支予算承認の件」、第3号議案「任期満了に伴う役員改選の件」が原案通りすべて承認され終了することができました。なお、各支部主催の事業は支部役員会にて協議し、詳細が決まりましたらご案内させていただきますのでよろしくお願い致します。

### 女性部会 Information

## 第10回法人会全国女性フォーラム福岡大会終了!!

去る、4月16日(木)に法人会全国女性フォーラムが福岡市のヒルトン福岡シーホークにて開催されました。記念講演会では日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介氏を講師に招き、「女性がつくる日本・地域の元気～未来を担う子供たちへ～」というテーマでお話を伺いました。

お陰様で、フォーラム並びにエクスカージョンを含めた全行程を恙なく終了することができました。また、会場には第7回税に関する絵がگیコンクールで選ばれた各単位会最優秀作品も掲示されました。



第10回 法人会全国女性フォーラム 福岡大会  
開催日:平成27年4月16日(木)

## 第35回定期総会・創立35周年記念講演会開催される



去る、4月24日(金)仙台勝山館にて女性部会「第35回定期総会」、「創立35周年記念講演会」・『記念祝賀会』開催!

第1部の定期総会は部会員28名が出席し、平成26年の事業報告・収支決算、そして役員改選について執行部より説明され、全会一致で原案通り可決、小山ミヨ部会長が再任されました。

第2部では、福島県南相馬市にある障害者を支援する施設、NPO法人ほっと悠の理事長でもある村田純子さんを講師に『震災から学ぶ～人さまの喜ぶことやる大切さ～』と題し、講演頂きました。自分が役に立つことが生きがいとなる事や、必要とされない人は生きてはいけない事など、改めて気づかされること多い内容でした。震災当時を振り返ったお話に涙を流される方もいました。第3部では仙台で活躍中の落語家の長井亭あやめ氏をお呼びし、ためになる笑いの連発で祝賀会に花を添えていただきました。創立35周年を迎え、部会員一同一丸となって活動を盛り上げてまいりますので今後の女性部会の活動にご期待ください!!



議長

### 編集後記

### 創立60周年にあたって

まず、この節目の年に会員でいられることを幸せに思います。今から60年前、私はまだ中学生でした。家族と横浜の郊外に居住し市街地にはまだ戦争で破壊された建物が数多く残っており、闇商いが横行し、街には朝夕職や宿を求める人達でごった返していたのを覚えています。同じ頃空襲で中心部に壊滅的な被害を受けた仙台の街で「税金を正しく納めよう」の理念の基に法人会を起ち上げた先達の方々の崇高な思いはただ単に敬意を表すの表現に留まるものではありません。当時GHQ(連合国軍総司令部)の監督下にあった国税局と税務署にとって心強い味方であったかと想像され、これが今日までの厚い信頼関係の礎となっていると思われま

す。今、日本は建国以来の人口減少化に直面しております。私達の法人会も今までの様に拡大の一途ではありませ

ん、特に地方の単会には厳しさがあると言われております。法人会の活気ある活動を進めるために、これからは若い方々の力に頼ることになります。60年後、私達のほとんどはこの世におりません。60年後も法人会がその理念を脈々と引き継ぎ社会貢献し続けて行くことを願っております。

今回60周年の記念講演にサンマリノ共和国特命全権大使のマンリオ・カデロ氏をお招き致しました。153カ国の駐日大使団長としてのお話しを謙虚にお聞きしたいと思ひます。何か私達日本人にとって将来の生きる道のヒントを与えて下さるかも知れません。

公益事業推進委員長 泉西支部 伊藤 眞二  
(有)仙台クリンネスサービス